

請願

◆請願第2号

介護従事者の全国を適用地域とした※特定最賃の新設を求める請願

【請願者】

岩手県医療労働組合連合会  
執行委員長 中野るみ子

(不採択)

◆請願第3号

看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願

【請願者】

岩手県医療労働組合連合会  
執行委員長 中野るみ子

(不採択)

※特定最賃

地域別最低賃金とは異なり、特定の産業または職業について、全国一律に設定される最低賃金。

議員発議

今定例会では、1件の議員発議案（意見書1件）が提出されました。

意見書

◆発議案第3号

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

(採択)

近年、交通事故の発生件数は減少傾向にあるものの、高齢運転者による死亡事故の割合が高まっている。高齢運転者の安全対策、安全運転支援の取り組み、運転免許証自返納時に公共交通機関の割引制度等の支援、地域協働による公共交通空白地の有償運送サービス、などを充実することを求める。

市議会って何だろう

Q 討論って？

議会の会議において、質疑が終わると議長は「討論」を宣告します。この「討論」とは議案に対する賛成、反対の旨とその理由を述べて他の議員の賛同を目的とする発言のことを言います。

Q 請願と陳情って？

私たち市民が市政に望むこと、実行してほしいことを議会に直接訴える制度で、誰でもだすことができる大事な権利です。

請願は、紹介議員を必要とし、その問題を所管する委員会が審査し、その後、本会議で採択、不採択を決定します。

採択された請願は、意見書が発議され、議決後に国や関係省庁、市に送り、その実現を要望します。

陳情は、紹介議員を必要とせず、原則陳情書は写しを全議員に配布します。各議員は、趣旨や要望事項などを確認し、対応について会派などで協議しますが、本会議や委員会での審査は行いません。

請願、陳情の提出には、期限がありますので、提出を希望する方は、遠野市議会事務局へお問い合わせください。

遠野市議会事務局

電話0198-62-2111

内線172・173

決算特別委員会

決算特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長瀧本孝一議員、副委員長小林立栄議員）は、決算等10件について付託され、審議を行いました。今委員会では、事業後の成果等について活発な質疑応答を交わしました。その結果、全10議案を原案のとおり認定・可決しました。

高齢社会の総合交通対策は

問 高齢化や人口減少の中にあつて、足の確保が大きな課題となっている。

答 どのような施策を講じているのか。

答 定額低料金（200円）バスの運行等を支援している。今後、優遇制度も検討したい。

問 交通空白地帯の対策は。

答 これから小さな拠点による地域づくりをすすめる中で、地域づ

くり連絡協議会を中心とし、交通空白地有償運送によって各地区の取り組みを促していきたい。

問 運転免許の自主返納者も増えている。早急な対策が必要では。

答 高齢者の交通事故が多発することに対する一つの有効な手段ではあると思うが、公共交通の希薄な当市にあつては抜本的な解決策とはならない。

問 国の動きにも併せて交通事業者と協議しながら対策を検討してい

ねっとゆりかご産前産後サポート

問 産後健康診査の成果は。

答 見込みを上回る利用者があつた。主治医に診ていただくことで、情報を共有しながら母子のサポートにつながつた。

問 助産院ねっとゆりかごの利用者の声は。

答 婦人科医の常駐や子どもを見てもらえる環境等を望むものがあつた。

問 産後ケアの期間の目安は。

答 国の指針では産後4か月を目安としている。それ以降は、相談やリフレッシュ事業等も行つていく。妊娠、出産、子育てと切れ目ない支援をしていく。

ゴミダイエット事業は

問 前年度に比較し、ごみの回収量が増えているが。

答 ごみ処理量全体で229t、可燃ごみについては279t増えている。今年度からの事業系ごみ有料化に伴い、駆け込みの影響で増えた事が要因のひとつである。

問 さらにごみの減量化に努めるべきでは。

答 分別の徹底を周知し減量化を図りたい。

問 若者の離職率を下げるために

答 3年以内で見ると28%の離職率になっている。岩手県の平均を見ると40%なので、ある程度の効果があつたと考えている。



新社会人に対する研修の様子

問 相談する同世代がないことが若年層の離職につながっているようだ。どのような対策をとっているか。

答 新入社員や若手リーダー対象の研修を開催している。それぞれの年代で相談できる体制を構築したい。

遠野牛の現状は

問 飼養農家戸数が減っているが対策は。

産者に対して、施設整備に重点をおいて助成している。

問 遠野牛のブランド化を目指しているが、肥育牛が干頭を割っている。どう捉えているか。

答 大事なことは遠野産の子牛を育てること。その仕組みづくりをしていきたい。

問 地元での消費を拡大した方がよいのでは。

答 地域内での消費も大切であるが、地域発ブランドとして全国に向けて取り組んでいきたい。

問 「結いの市」に係る産直ネットワーク事業の成果は。

答 農家の所得向上のため、盛岡商圏への販路拡大を目的に実施した2年間の実証事業の

市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等の一部をご紹介します。（文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。）



毎月、遠野に帰るたびに楽しみに拝読しております。各議員の政治活動・政治方針が垣間見られます。議会の中も「ガラス張り」のようにお見受けしています。  
(世田谷区、63歳、女性)

「問」「答」が色分けしてわかりやすいです！これからも頑張ってください。  
(宮守町、35歳、女性)

遠野に来てあつという間に時間が過ぎます。年寄りにならなくても年寄りになりますね。免許返納しやすい。交通網、足がどこの市より、画期的に整い、トしよりも、オもいやりある、ノほほんくらしが、出来る街になれば、最高だなあと思います。  
(青笹町、77歳、女性)

スマホ、タブレットで議会だよりを見ています。いつでもどこでも遠野を知ることが出来てうれしいです。クイズも楽しいひと時最高！きれいな水で育った一人として外山の水澄みきつた流水に戻してほしいと願いつつ書きました。  
(小友町、54歳、女性)